

平成30年度 事業報告書

(事業年度 平成30年4月1日 ～ 平成31年3月31日)



香 蘭

学校法人 山内学園

祈りつゝ育てしまこと

あらわれて

気高く香る初咲きの蘭

昭和三十五年短大一期生卒業式一首

初代学長 山内良子先生著

目 次

1. 法 人 の 概 要	1
2. 学 園 沿 革	3
3. 法 人 組 織 図	4
4. 役 員 ・ 評 議 員	5
5. 学 生 ・ 職 員 現 員	6
6. 事 業 の 概 要	7
7. 主 な 事 業 内 容	9
8. 地 域 貢 献 活 動 報 告	12
9. 進 路 状 況	14
10. 決 算 の 概 要	15
11. 資 金 収 支 計 算 書	17
12. 活 動 区 分 資 金 収 支 計 算 書	18
13. 事 業 活 動 収 支 計 算 書	19
14. 貸 借 対 照 表	20
15. 財 産 目 録	21
16. 監 査 報 告 書	22
17. 財 務 比 率 表	23

法人の概要



法人名: 学校法人 山内学園 (昭和23年2月 法人設置認可)

理事長: 坂根 康秀

所在地: 〒811-1311 福岡市南区横手1丁目2番1号

電話: (092)581-1538 FAX: (092)581-2200

H P: <http://koran.ac.jp/>

設置学校



香蘭女子短期大学

〒811-1311 福岡市南区横手1丁目2番1号

学長 坂根 康秀

設置学科: ファッション総合学科・食物栄養学科・保育学科・ライフプランニング総合学科
(テクニカル専攻科 1年課程)

電話: (092)581-1538 FAX: (092)581-2200

H P: <http://koran.ac.jp/>



香蘭ファッションデザイン専門学校

〒810-0074 福岡市中央区大手門2丁目10番5号

校長 深田 勝久

設置学科: ファッションデザイン専攻科(3年課程)・ファッションデザイン科(2年課程)
ファッションテクニカル科(2年課程)・ファッションビジネス科(2年課程)

電話: (092)751-1331 FAX: (092)741-0688

H P: <http://koran.jp/>



香蘭女子短期大学附属 香蘭幼稚園

〒811-1311 福岡市南区横手1丁目12番35号

園長 坂根 康秀

定員: 300名 3年保育 2歳児・満3歳児保育 預り保育あり

電話: (092)571-3441 FAX: (092)513-1813

H P: <http://kourankid.com/>



幼保連携型認定こども園(平成30年4月より移行)
香蘭女子短期大学附属 那珂川第一幼稚園

〒811-1251 那珂川市松木5丁目1番1号

園長 河野博行

定員: 280名 幼稚園部(1号)・保育園部(2号・3号)

電話: (092)953-1135 FAX: (092)953-3848

H P: <http://www.nakagawadai1.com>



香蘭女子短期大学附属 那珂川第二幼稚園

〒811-1252 那珂川市五郎丸3丁目17番1号

園長 峯田功子

定員: 240名 3年保育 預かり保育あり

電話: (092)953-0222 FAX: (092)953-0222

H P: <http://www.nakagawadai2.com>

(姉妹法人設置保育園)



社会福祉法人 香蘭育成会 しおばる保育園

〒815-0032 福岡市南区塩原3丁目26番19号

理事長 坂根康秀

園長 長谷川明美

定員 120名

電話: (092)554-1188 FAX: (092)554-1288

H P: <http://www.shiobaruhoikuen.com>

建学の精神

「いかなる困難な場合にあっても、創意・工夫を大切にし、
人を愛し、人から愛される自立した女性の育成」

学園沿革

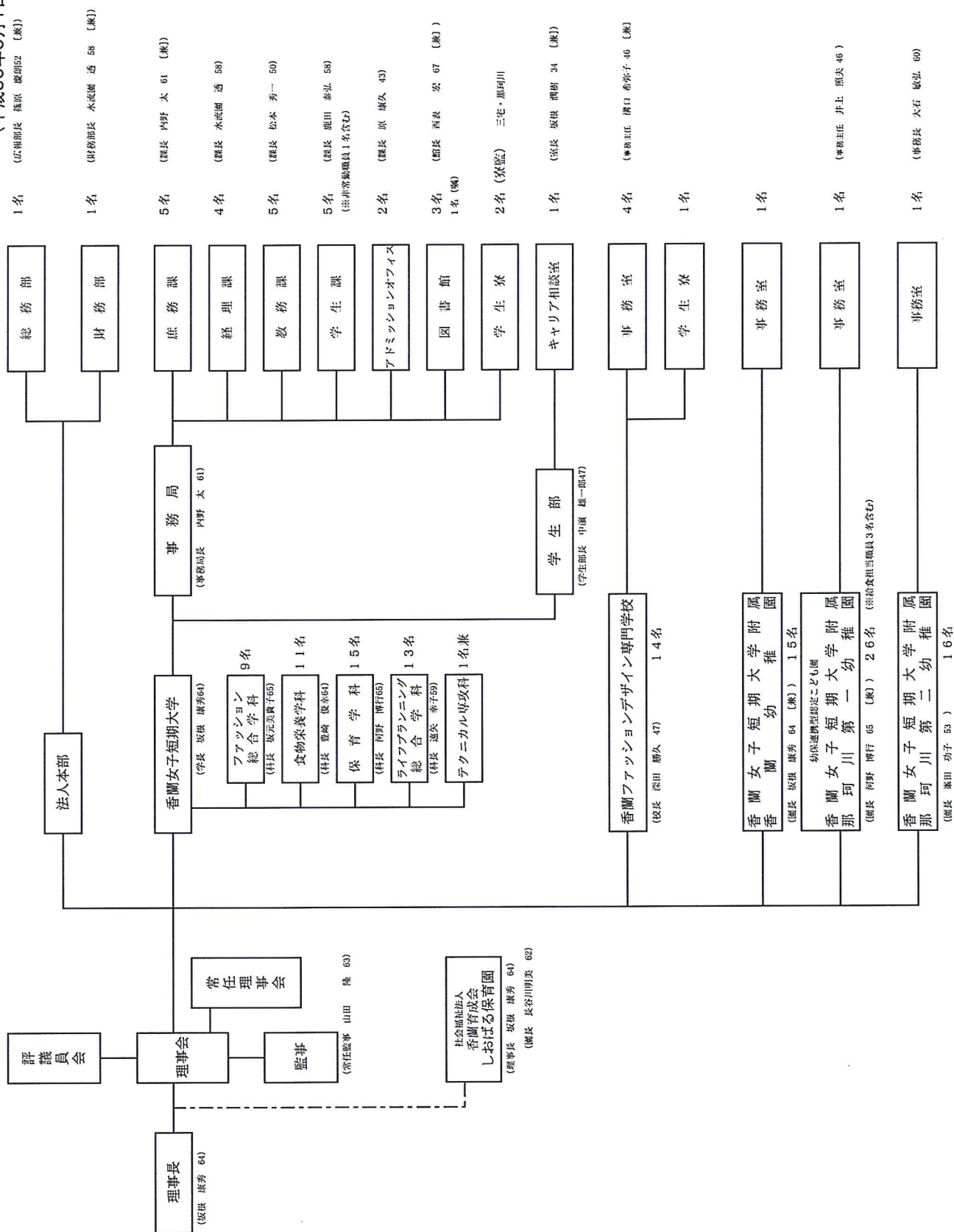
- 昭和 10年 5月 レディース香蘭女学院開学
 21年 9月 香蘭女学院設立認可(個人立)
 26年 3月 財団法人レディース香蘭女学院から準学校法人香蘭女学園へ組織変更
 33年 1月 学校法人山内学園へ組織変更認可、香蘭女子短期大学被服科設置認可
 36年 8月 創設者 山内良子逝去
 38年 4月 短期大学に家政科増設(井尻校舎)
 40年 4月 短期大学に保育科増設(井尻校舎)、被服科二部増設(大手門校舎)
 42年 4月 短期大学附属幼稚園(現香蘭幼稚園)開園
 47年 4月 被服科を井尻校舎へ移転し、短期大学を同一校地へまとめる
 50年10月 被服科2部廃止、法人本部を中央区大手門から南区横手へ移転
 51年 9月 香蘭女学院を専修学校に組織変更し、専門学校香蘭女学院に名称変更
 58年 4月 短期大学に秘書科増設
 62年 4月 短期大学に国際教養科増設
 63年12月 学)啓徳学園を吸収合併認可、香蘭女子短期大学附属那珂川第一幼稚園に名称変更
- 平成 元年 4月 香蘭女学院を香蘭ファッションデザイン専門学校に名称変更
 10年 8月 専門学校の高等課程を廃止
 11年 4月 香蘭女子短期大学附属那珂川第二幼稚園設置
 15年 4月 家政科家政専攻、秘書科、国際教養科を改組転換し、ライフプランニング総合学科を設置
 " 被服科を被服学科へ、保育科を保育学科へ名称変更
 " 短期大学の家政科専攻分離を廃止し、家政科を食物栄養学科に名称変更
 16年 3月 秘書科、国際教養科廃止
 17年 4月 那珂川第一幼稚園 園舎移転(王塚台から松木)
 18年 4月 附属幼稚園園舎を新築移転し、附属香蘭幼稚園に名称変更
 20年 4月 短期大学の被服学科をファッション総合学科へ名称変更
 21年 4月 専門学校のスタイリスト科を廃止、ファッションデザイン専攻科、ファッションデザイン科、ファッションテクニカル科、ファッションビジネス科へそれぞれ名称変更
 22年 4月 短期大学にテクニカル専攻科(1年)を設置
 26年 4月 専門学校が職業実践専門課程の文科省認定を受ける
 30年 4月 那珂川第一幼稚園を幼保連携型認定こども園に移行

歴代理事長

初代	山内良子	昭和33年 1月 ~ 昭和36年 8月
第二代	家永豊太	昭和36年11月 ~ 昭和38年 8月
第三代	坂根嘉子	昭和38年 9月 ~ 昭和53年 3月
第四代	坂根 潔	昭和53年 4月 ~ 平成 6年 3月
第五代	山内昭人	平成 6年 4月 ~ 平成20年 3月
第六代	坂根康秀	平成20年 4月 ~ 現在

法人の組織機構図

(平成30年5月1日現在)



区 分	常勤 非常勤	氏 名	就 任 年 月 日	任 期	選任条項
理事長	常勤	坂 根 康 秀	平成6年4月1日	H30.4.1～34.3.31	一 学長
理 事 (定数7)	常勤 副理事長	坂 根 潤 樹	平成30年4月1日		二 評議員会互選
	常勤	水流園 透	平成30年4月1日		三 法人職員・財務部長
	常勤	篠 原 慶 朗	平成30年4月1日		三 法人職員・広報部長
	非常勤	海江田 令 次	平成22年4月1日		四 功労者・学識経験者
	非常勤	船 越 俊 秀	平成26年4月1日		四 功労者・学識経験者
	非常勤	安 田 聡 剛	平成30年4月1日		四 功労者・学識経験者
監 事 (定数2)	常勤	山 田 隆	平成30年4月1日	H30.4.1～34.3.31	理事長選任
	非常勤	武 部 道 孝	平成18年4月1日		理事長選任
評議員 (定数17)	常勤	坂 根 康 秀	平成2年4月1日	H30.4.1～32.3.31	一 香蘭女子短期大学長
	常勤	深 田 勝 久	平成22年4月1日		二 香蘭ファッション校長
	常勤	峯 田 功 子	平成24年4月1日		三 附属幼稚園長
	常勤	坂 根 潤 樹	平成26年4月1日		四 後継者
	非常勤	牛 島 茂 美	平成24年4月1日		五 卒業生
	非常勤	的 野 秀 子	平成22年4月1日		五 卒業生
	非常勤	中 富 美穂子	平成14年4月1日		五 卒業生
	常勤	豊 崎 俊 幸	平成28年4月1日		六 法人職員
	常勤	内 野 太	平成30年4月1日		六 法人職員
	常勤	溝 口 希弥子	平成17年4月1日		六 法人職員
	非常勤	小 竹 誠 次	平成18年4月1日		七 功労者・学識経験者
	常勤	河 野 博 行	平成29年4月1日		七 功労者・学識経験者
	非常勤	森 山 久 子	平成26年4月1日		七 功労者・学識経験者
	非常勤	岩 子 律 二	平成26年4月1日		七 功労者・学識経験者
	非常勤	船 越 俊 秀	平成24年4月1日		七 功労者・学識経験者
	非常勤	秋 峯 良 二	平成28年4月1日		七 功労者・学識経験者
	非常勤	森 永 哲 二	平成30年4月1日		七 功労者・学識経験者

学生・園児数現員

① 学生生徒現員 ※専攻科学生数は外数、留学生は内数（5月1日現在基本調査より）

学校名・学科課程名			平成29年度		平成30年度		前年度増減	
			入学者	在籍数	入学者	在籍数	入学者	在籍数
短期大学	F A 総合学科	100	61	127	63	124	2	△ 3
	食物栄養学科	80	58	129	71	128	13	△ 1
	保 育 学 科	150	144	309	143	292	△ 1	△ 17
	L P 総合学科	150	143	277	129	275	△ 14	△ 2
	合 計	480	406	842	406	819	0	△ 23
	テクニカル専攻科	15	8	8	5	5	△ 3	△ 3
	留学生（短期大学）		4	18	7	17	3	△ 1
専門学	合 計	160	117	250	133	281	16	31
	（男 子）		15	30	30	52	15	22
	[留学生]		1	2	1	2	0	0
香 蘭 幼稚園	満 3 歳 児 未 満		5	5	3	3	△ 2	△ 2
	3 歳 児	100	76	97	77	98	1	1
	4 歳 児	100	6	105	10	106	4	1
	5 歳 児	100	2	102	3	99	1	△ 3
	合 計	300	89	309	93	306	4	△ 3
第一幼稚園 (認定こども園)	1号	3歳児未満	15	2	2	11	9	9
		3 歳 児	45	26	46	29	3	△ 3
		4 歳 児	45	4	61	3	△ 1	△ 15
		5 歳 児	45	0	58	0	0	△ 4
	2号	3 歳 児	15	0	0	12	12	12
		4 歳 児	15	0	0	14	14	14
		5 歳 児	15	0	0	10	10	10
	3号	0 歳 児	6	0	0	6	6	6
		1 歳 児	9	0	0	9	9	9
		2 歳 児	15	0	0	12	12	12
	合 計		225	32	167	106	74	50
第二幼稚園	3 歳 児	60	73	73	87	87	14	14
	4 歳 児	90	6	71	12	88	6	17
	5 歳 児	90	2	90	1	78	△ 1	△ 12
	合 計	240	81	234	100	253	19	19
総 合 計		1,405	725	1,802	838	1,876	113	74

②専任教職員数

所 属	平成29年度			平成30年度			増減	備考
	教員数	職員数	合 計	教員数	職員数	合計		
短 期 大 学	47	29	76	48	26	74	△ 2	学生寮含む
専 門 学 校	15	4	19	15	4	19	0	寮含む
香 蘭 幼 稚 園	14	1	15	15	1	16	1	園長除く
第一幼稚園	11	1	12	21	4	25	13	園長除く、1名産休中
第二幼稚園	16	1	17	16	1	17	0	
総 合 計	103	36	139	115	36	151	12	

③しおばる保育園

区分	定員	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	園児合計	教職員 (内パート)
平成29年度	120	13	23	28	24	25	23	136	31(7)
平成30年度		14	20	26	25	24	24	133	32(9)

30年度 事業の概要

◆短期大学

事業項目		事業の概要
①	FA学科の定員減変更届提出	定員変更届を提出し、平成31年度入学生より定員を100名から80名へ減員し、減員に応じた入試を実施した。
②	履修登録等のWEB化準備作業	教学システム・出席管理のWEB化を実行。現在は閉域(学内)での運用。
③	文部科学省補助事業 改革総合支援事業等の補助金獲得申請	改革総合支援事業「タイプ1:教育の質的転換」「タイプ5:プラットフォーム形成」、「私立大学研究ブランディング事業・タイプA:社会展開型」に申請。結果、選定されたのは、「タイプ5:プラットフォーム形成」のみであった。
④	海外研修の継続	食栄・保育(ハワイ)＝9月実施、FA総合(イタリア)＝12月実施、LP総合(台湾)は成立せず。
⑤	「短期大学コンソーシアム九州」共同事業の継続	学生アンケート、高校訪問キャラバン隊の継続実施。補助金はH28年度で終了したが、事業は継続。
⑥	経営改善計画の継続と見直し	経営改善計画を見直し、目標の再設定。8月の学園教職員研修会で例年通り実施し、意識を共有した。
⑦	インターンシップの充実	受け入れ先も徐々に拡大。大きく春季、夏季、後期に分け説明会を行い、学生の希望企業(分野)とのマッチングを行い実施している。
⑧	日本インターンシップ学会全国大会	本学を会場とし9月3日・4日に実施。本学は当学会の法人会員。学生(LP1年)もスタッフとして参加した。
⑨	留学生の積極的受け入れ	日本語学校向けの指定校制度導入、指定校にかかる留学生の学費負担軽減制度導入、相談会等の参加拡大等積極的な対策の結果、入学者が52名となり、大幅に増加した。
⑩	教育改革実行計画の募集継続	学長裁量予算100万円。本学学生への教育改革に対し経費を支出。平成30年度は4件の申請に対し、麻生准教授・中濱教授申請分の2件を採択。
⑪	地域連携センターの活動継続・推進	地域との連携・貢献活動(南区こども大学・南区出前講座大学版等)の継続および推進。H30年度は「南区こども大学」に7講座、「南区出前講座(大学版)」19講座を提供し実施。その他本学主催の公開講座、夏季公開講座(高校教員向け)、アクティブ香蘭での食育講座、学生ボランティア活動として地域清掃、南区役所花壇植え替えなどを行った。
⑫	食物栄養学科と雪印メグミルクとの連携事業の継続	H28年度の協定締結した雪印メグミルクとの事業継続。学内で学生を対象(教職員も参加可)としたチーズ講習会やヨーグルトを使ったレシピ開発などを行っている。
⑬	授業評価・教職員評価顕彰制度の継続	学生の授業評価・教職員の評価等で教職員を顕彰を継続実施。
⑭	公開授業の継続	専任・非常勤教員の授業公開の義務付けし、専任職員の授業参観を継続実施。
⑮	高大連携事業の継続	博多工業高等学校、香椎高等学校との高大連携事業の継続実施。
⑯	プラットフォーム事業の実施	「H30年度私立大学等改革総合支援事業タイプ5(発展型)」にて採択された「九州西部地域大学・短期大学連合産学官連携プラットフォーム」の実施。
⑰	ファッションビジネス学会西日本支部総会開催	6/16本学において同学会西日本支部の定例総会および特別講演会を実施。8月には共催事業として、本学で「夏季公開講座」および専門学校で「夏季講習会」を実施。(※西日本支部長は坂根学長、事務局長は坂元FA総合学科長)
⑱	大連工業大学(中華人民共和国)との教育提携協定締結	3月に坂根学長、坂元FA学科長が現地に出向いて教育連携協定締結。2019年9月の教育連携活動実施に向け、現在内容を折衝中。

30年度 事業の概要

◆専門学校

事業項目	事業の概要
① クリエーションショーの開催	7/8に体験入学・学校説明会と同時に「KORAN COLLECTION」、8/4に「専攻科祭り」を開催。
② 卒業記念展・進級作品展の開催	2/22・23に福岡ファッションビルにて卒業記念展、3/16に進級作品展を開催。
③ 業界著名人の招致	業界人をゲストに迎えた講演会等を実施。H30年度はファッションイラストレーター「岡本あずさ：日本初のファッションイラストレーターで日本郵政局の切手デザインに採用」を迎えワークショップ(夏期講習)を開催。
④ 文科省委託事業 「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」への参加(3ヶ年事業)・継続事業	専修学校による地域産業中核的人材養成事業、Society5.0等対応カリキュラムの開発・実証。次年度実施に向けカリキュラムの骨子を構築。
⑤ アパレル企業合同企業説明会の開催	4/25に開催。43社が参加。
⑥ 企業とのコラボレーション【職業実践専門課程】	各学科「職業実践専門課程」のカリキュラムに沿った実学実習を行い、教育課程編成委員会で報告を行った。
⑦ 海外研修の実施(グローバル人材育成)	専門学校提携校であるイタリアIEDで海外研修を12月に実施。IEDのカンファレンスを学校で実施。
⑧ 各種ショーへの参加	行政・各団体からの依頼で、ファッションショーの衣装提供、フィッター、展示等を行った。大丸イベント「80代のファッション」、広川紺祭り、博多工業組合ファッションショー、手づくりフェアin九州内などへの参加。
⑨ 各種コンテストへのエントリー	国内ファッションコンテスト【YKKファスニングアワード、日暮里コレクション、JFW JAPAN CREATION FORM PRESENTATION、神戸ファッションコンテスト、技能五輪】などへ参加し入選・入賞を果たした。

◆香蘭幼稚園

事業項目	事業の概要
① 親子1歳児保育の実施	平成29年度から継続実施。
② 保育料減免の継続	兄弟・双子入園時の保育料の減免を継続実施。
③ 継続事業	二歳児保育、満三歳児保育、延長保育、未就園児

◆那珂川第一幼稚園

事業項目	事業の概要
① こども園への移行。自前給食の実施。	認定こども園として4月1日より運営。完全給食制の実施。
② 各種研修会への参加	教職員の資質向上に関する研修会への参加はあるが、処遇改善加算Ⅱの受給に必要なキャリアアップ研修には未参加。今後の検討課題である。
③ 英会話・体操教室・水泳教室の開催	英会話・体操教室は月2回実施。水泳教室は実施せず。
④ 1号児の夏・冬・春休暇中の預り保育の実施	パート就業保護者などへのサービスとして計画通り実施。

◆那珂川第二幼稚園

事業項目	事業の概要
① 預り保育の単独事業	第一幼稚園との合同を解消し、計画通り単独で実施。
② 各種研修会への参加	学園内4園合同研修会を開催。
③ 未就園児教室の充実(回数増)	優先入園での園児確保のため、予定通り実施回数増加。
④ 預り保育の延長、早期受入れの継続。	計画通り実施。

◆法人本部

事業項目	事業の概要
① 「坂根嘉子先生 思い出の会」開催	4/28(土)に西鉄GHで開催。出席者約190名。
② 春吉土地の売却	2018年6月に売買契約を締結。2019年度中に売却予定。
③ 小郡土地の売却	3月に売却。

★香蘭女子短期大学

① ファッション総合学科の定員減変更届提出

ファッション総合学科の定員を平成31年度入学生より100名から80名へ減員し各種入試を実施。結果、84名の入学生を迎え入れ、定員を充足することができた。

② 履修登録及び出席状況のweb化

4学期制導入に併せ、教学システム等のweb化を順次進めた。セキュリティの問題もあり、初年度は閉城領域システムとして、学内でのPCからのアクセスのみの入出力システムとした。グローバルオープン(学外からのアクセス)化については検討中。昨年、学内での無料WIFIを導入し、学生たちのアクセスが可能な接続ポイントを本館、食堂、図書館等に設置したが、今年度は学生ホールにポイントを増設した。今後も学内どこからでもアクセスできるように増設を計画する予定である。

③ ファッション総合学科卒業制作展の実施

昨年度に引き続き、天神ソラリアプラザ1F「ゼファ」において、2月14日～17日の4日間、卒業制作展を開催した。本年度の全体テーマは「筑後の工芸・民芸をFASHION DESIGNへ」。精密で繊細かつ洗練された民芸・工芸品の数々に学生は魅了され、その歴史や伝統技法などを調査研究し、各自のテーマにそって自分たちの感性でデザインし制作。最終日のファッションショーでは、煌びやかな衣装が多くの観客の



④ 学園全教職員研修会の開催

例年のように、8月に学園教職員を対象に、学園の財務状況・資産状況・収支の状況・学生教職員数等について資料を基に説明を行い改善計画の見直しを行った。

⑤ 海外研修の継続

食物栄養・保育学科共同のハワイ研修(9月)及びファッション総合学科のイタリア研修(12月)を実施。



⑥ 短期大学コンソーシアム九州」の共同事業の継続

継続事業として、九州7短大で「IRネットワークシステムの構築」・「在学生調査」・「高校訪問キャラバン隊」などを実施。この事業の補助金は終了したが、事業は継続中である。

⑦ 留学生の積極的受け入れ

日本語学校向けの指定校制度導入、指定校にかかる留学生の学費負担軽減制度導入、相談会等の参加拡大等、積極的な対策の結果、入学者が52名となり、大幅に増加した。

⑧ 授業評価・教職員評価顕彰制度の継続

29年度より、専任教員及び非常勤教員のすべての担当科目の全コマにおいて、学生によるペーパーによる授業評価を実施を義務化した。29年度に引き続き30年度も実施。評価の高い授業科目については、担当教員の顕彰を朝礼時に行った。

⑨ 大連工業大学服装学院(中華人民共和国)との教育提携協定締結

3月に坂根学長、坂元FA学科長が現地に出向いて教育連携協定を締結。2019年9月の教育連携活動の内容について大連工業大学と随時協議を行っている。



★香蘭ファッションデザイン専門学校

① クリエーションショーの開催

7月8日の体験入学・学校説明会と同時に「KORAN COLLECTION」を開催。専攻科3年の新作発表、前年度のアーカイブコレクション作品を披露。400名を超える来場者があった。8月4日には「専攻科祭り」を開催し、ナイトファッションショーを実施。夜間の開催にもかかわらず150名程の来場客で賑わった。



② 卒業記念展の開催

2月23日・24日に福岡ファッションビルにおいて「卒業記念展 EVOLUTIONー進化」を開催。ファッションショー形式のコンテスト及びショップ運営を行った。多くの来場者が訪れ大盛況のうちに無事終了した。



③ 各種コンテストの入選・入賞

国内ファッションコンテスト【YKKファスニングアワード、日暮里コレクション、JFW JAPAN CREATION FORM PRESENTATION、神戸ファッションコンテスト、技能五輪】などへ参加し入選・

④ 文部科学省委託事業「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」への参加(3カ年事業:継続)

専修学校による地域産業中核的人材養成事業、Society5.0等対応カリキュラムの開発・実証。次年度実施に向けカリキュラムの骨子を構築。

⑤ 業界著名人の招致

業界人をゲストに迎えた講演会等を実施。H30年度はファッションイラストレーター「岡本あずさ:日本初のファッションイラストレーターで日本郵政局の切手デザインに採用」を迎えワークショップ(夏期講習)を開催。

★附属幼稚園

(那珂川第一幼稚園)

■ 幼保連携型認定こども園への移行(初年度)

平成30年4月1日に幼保連携型認定こども園としての運営を開始。認定こども園に移行にあわせ完全給食制を導入した。移行初年度ということもあり、慣れない部分もあったが、通常の保育・園行事ともに順調に運営することができた。

★法人

■ 坂根嘉子先生「思い出の会」開催

平成30年3月11日にご逝去された坂根嘉子先生の「思い出の会」を4月28日(土)、西鉄グランドホテルで開催した。先生は学園の理事長、学園長、短大学長、専門学校校長などを歴任され、学園の繁栄に多大な功績を遺された。当日は現教職員はもちろん、多くの同窓生・旧職員が集い、在りし日の先生を偲んだ。(坂根嘉子先生の「叙位:正五位」・「叙勲:旭日中綬章」が平成30年4月に閣議決定され、同年6月に叙位・勲記・勲章が授与された。)



平成30年度
地域連携取組状況

	開催日	事業名・テーマ等	主催者(開催地域等)	担当者	
				所属	氏名
南区こども大学	6月23日	親子陶芸教室 ～世界に一つしかない我が家のお皿づくり～	美術工芸室	保育	河野 博行
	7月21日	わくわくパソコン講座 ～アニメーションの仕組みを理解しよう～	第二マルチメディア教室	LP	田中 健吾
	7月28日	エプロンを作ろう	154教室	FA	宮崎 千草
	7月28日	親子で学ぶ食育講座① 親子で一緒に「手作りおやつ」を作ろう！	第二調理実習室・試食室	食栄	宮崎 貴美子
	8月4日	親子で学ぶ食育講座② 色の不思議 食品の中の色を調べよう！	理化学実験室	食栄	金田 一秀
	8月7日	トランスパレントでかざりを作ろう	136教室	LP	河野 洋子
	8月25日	親子で学ぶ食育講座③ だしを取って味を比べてみよう！	第二調理実習室・試食室	食栄	麻生 廣子
開夏講季座公	8月6日	高校家庭科授業でできる化学実験～食品中の色素を取り出してみよう～	LP学科(理化学実験室)	食栄	金田 一秀
		家庭科授業に役立つ服作り ～簡単でお洒落な重ね着トップス～	FA学科(CAD・154教室)	FA	尾畑 圭祐
	開催日	事業名・テーマ等	主催者(開催地域等)	担当者	
				所属	氏名
食育	9月30日	魚釣りゲーム・イワシの手開き・親子クッキング * 台風の為中止	アクティブ香蘭	食1,2年 11名	宮崎 貴美子 竹本 尚未
	10月28日	だし当てゲーム・親子クッキング・紙芝居	381教室、第一調理実習室		
	11月25日	劇・親子クッキング			
南区出前講座(大学版)	6月21日	南区人権講座「子どもは未来～地域で子どもを育てることから」	南区生涯学習推進課(南市民センター)	保育	中村 洋子
	7月9日	紋切り型であそぼう	花畑ふれあいサロン	LP	河野 洋子
	7月14日	本場インド料理 えびカレーに挑戦！	花畑公民館	食栄	眞木 孝
	7月23日	テーブルモビールを作ろう	子どもの居場所やにしすまいる(弥永西公民館)	LP	河野 洋子
	9月15日	テーブルモビールを作ろう	三宅公民館(魅力学園Ⅱ)	LP	河野 洋子
	9月20日	北欧のインテリアに学ぶ～トランスパレントを楽しもう～	和田1丁目男女共同参画部(和田集会所)	LP	河野 洋子
	9月22日	認知症予防の食生活～脳も体もいつまでも若々しく～	日佐5丁目明星クラブ(日佐公民館)	食栄	陶山 敦子
	10月5日	認知症予防の食生活～脳も体もいつまでも若々しく～	弥永西ふれあいサロン(弥永西公民館)	食栄	陶山 敦子
	10月11日	からだところをほぐすストレッチ運動	柏原公民館(乳幼児講座)	保育	中村 洋子
	10月27日	日本料理、作って味わう	ふくろう会(老司公民館)	食栄	眞木 孝
	11月9日	北欧のインテリアに学ぶ～トランスパレントを楽しもう～	柏原幼稚園保護者会	LP	河野 洋子
	11月15日	子どもは未来～地域で子どもを育てることから	長丘小学校PTA行事(長丘公民館)	保育	中村 洋子
	11月20日	真空料理って何？	日佐校区健康推進連合会(日佐公民館)	食栄	竹本 尚未
	12月6日	からだところをほぐすストレッチ運動	長丘校区健康づくり委員会(長丘公民館)	保育	中村 洋子
	12月6日	北欧のインテリアに学ぶ～トランスパレントを楽しもう～	野多目公民館 ふれあいサロン	LP	河野 洋子
	12月10日	紋切り型であそぼう	玉川校区健康推進連合会(玉川公民館)	LP	河野 洋子
	12月15日	北欧のインテリアに学ぶ～トランスパレントを楽しもう～	子どもの居場所やにしすまいる(弥永西公民館)	LP	河野 洋子
	12月15日	ハッピー・マネープランニング	三宅公民館	LP	中濱 雄一郎
	2月14日	認知症予防の食生活～脳も体もいつまでも若々しく～	鴻の巣学園(長丘公民館)	食栄	陶山 敦子
	2月21日	認知症予防の食生活～脳も体もいつまでも若々しく～	和田1丁目男女共同参画部(和田集会所)	食栄	陶山 敦子
その他	7月13日	横手小学校6年生とファッション総合学科とのジョイント授業	147, 154教室	ファッション総合学科	
		博多織求評会での作品展示(～12日)		テクニカル専攻科	
ボランティア	3月	ファッション総合学科作品展(～22日 ファッションウィーク福岡2018)	博多ステーションビル	FA学科・専攻科	
	5月31日	南区役所 花壇植え替え	南区役所総務部	LP1年	河野 洋子
	6月10日	ラブアーススクリーンアップ福岡2018	横手公民館	LP1年	河野 洋子
	6月23日	高齢者施設でのお楽しみ会	ひいの丘	保育	阿久根 千賀子
	10月3日	南区役所 花壇植え替え	南区役所総務部	FA1年	河野 洋子
	10月	エコバッグ製作	南区校区環境委員会	LP	中濱 雄一郎
	11月3日	RAN伴 応援	横手公民館	LP	河野 洋子
	12月	クリスマスマーケット	福岡副都心クリスマスマーケット	LP	河野 洋子
	5月～7月	南区役所 環境整備	南区役所サービス向上委員会	LP	河野 洋子

公開講座の状況

No.	講 座 名	講 師	開催日時	1回時間
1	社会人のためのSDGs生涯教室「陶芸講座」	河野 博行	10月13日	120分
2	博多人形講座 ～干支もの(戌)絵付け体験～	小副川 祐二・太郎	11月26日	180分
	社会人のためのSDGs生涯教室「陶芸講座」 * 定員割の為中止	河野 博行	1月19日	120分
3	みーちゃん・ちちむん とうじみぬうちな一講座 (見るもの・聞くもの、終わりの沖縄講座)	解説: 西表 宏 他	2月17日	90分
平成30年度 合 計			開講 3件/4	

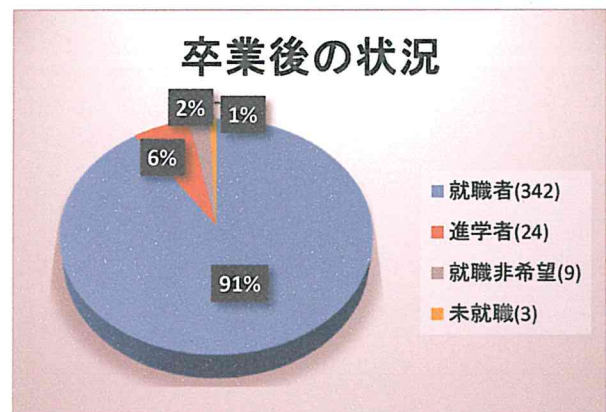
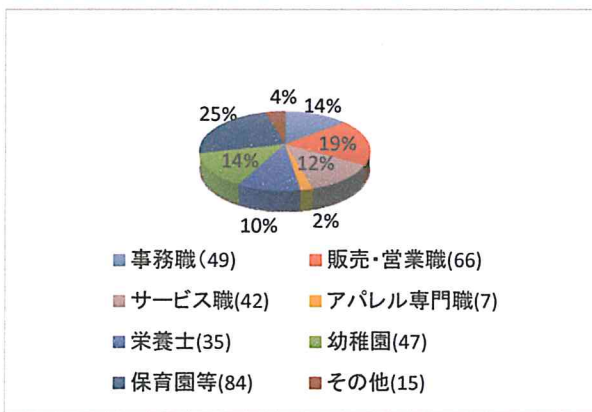
進路状況

短期大学

30年度卒業生

R元年5月1日現在

学科	FA総合	食物栄養	保育	LP総合	総計	テクニカル 専攻科
卒業生数 (留学生を除く)	55	55	138	130	378	5
就職希望者数	45	49	134	117	345	5
希望率%	81.8%	89.1%	97.1%	90.0%	91.3%	100.0%
就職決定者数	44	49	134	115	342	5
就職決定率%	97.8%	100.0%	100.0%	98.3%	99.1%	100.0%
進学者数	9	3	2	10	24	0
就職非希望者	1	3	2	3	9	0

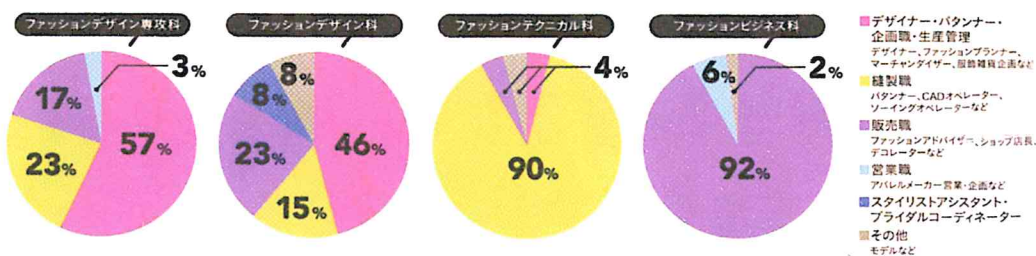


専門学校

30年度卒業生

H31年3月現在

学科	専攻科	デザイン	テクニカル	ビジネス	総計
卒業生数 (留学生を除く)	35	17	30	38	120
就職希望者数	32	13	28	36	109
希望率%	91.4%	76.5%	93.3%	94.7%	90.8%
就職決定者数	30	13	28	36	107
就職決定率%	93.8%	100.0%	100.0%	100.0%	98.2%
進学者数	2	3	2	1	8
就職非希望者	1	1	0	1	3



1. 資金収支計算書について

「資金収支計算書」は、当該年度の教育研究等の諸活動に対するすべての収入と支出の内容及び支払資金（現預金）のてん末を明らかにしたものです。お金の流れをすべて表した計算書となっていますので、授業料等の前受金収入、その他の収入などが含まれ、支出では、資産運用支出、その他の支出などが含まれます。

資金収支の合計額は 51 億 8,200 万円で、前年度決算額と比較して 1,500 万円の減と、昨年度並みの収支となりました。

収入で、昨年度と異なる点では那珂川第一幼稚園が幼保連携型認定こども園に移行したことにより、補助金収入のうち、1 億 3448 万円が施設型給付費収入となりました。また、資産売却収入のうち、土地の売却によるものが 1 億 2,866 万円、有価証券の償還によるものが、1 億 5,000 万円でした。

支出で昨年度と異なる点では、将来の改修工事等に備えるため、第 2 号基本金の組入れ計画に対応する特定資産の繰入支出が 2 億 2,000 万円、奨学基金を増加したことによる第 3 号基本金の組入れ計画に対応する特定資産の繰入支出 5,000 万円の支出が発生しております。

資金収支のてん末としての翌年度繰越支払資金は 23 億 3,040 万円で、前年度決算額と比較して 5,294 万円減少しました。

2. 活動区分資金収支計算書について

資金収支計算書を補うものとして、「教育活動による資金収支」、「施設整備等活動による資金収支」、「その他の活動による資金収支」の 3 つに区分して計算したものが「活動区分資金収支計算書」となります。これにより活動区分ごとの資金の流れが明らかになり、支払資金の収支差額が把握しやすくなっています。

「教育活動による資金収支」では、本業である教育活動の収支状況を把握することができ、2 億 3,893 万円の収入超過となっています。次に「施設整備等活動による資金収支」では、施設・設備関係の収支を把握することができ、2 億 2,624 万円の支出超過となっています。最後に、「その他の活動による資金収支」では、有価証券売却収入や購入支出、特定資産からの取崩収入や繰入支出、税金等預り金などの収入や支出を把握することができます。その他の活動資金収支差額は、2 億 7,920 万円の支出超過となっており、支払資金の増減額は、5,294 万円の減少となりました。

3. 事業活動収支計算書について

「事業活動収支計算書」では、当該年度の事業活動を表すもので、収支を経常的なものと臨時的なものに分け、さらに経常的な収支を教育活動と教育外活動に、臨時的な収支は特別収支として区分し、それぞれの区分ごとに事業活動収入及び支出の状況を把握できるようにしています。これによって学校法人の経営状態が健全であるかどうかを判断することができます。

平成 30 年度事業活動収支における事業活動収入計は 19 億 8,548 万円、事業活動支出計は 20 億 406 万円となりました。また、事業活動収入計と事業活動支出計の差額は 1,857 万円の支出超過で、基本金組入額は 2 億 7,899 万円を計上しました。

教育活動収支では、経常的な収支のうち、本業である教育活動の収支を見ることができ、収支差額は 5,765 万円の支出超過となりました。

次に教育活動外収支では、経常的な収支のうち、財務活動の収支を見ることができ、その収支差額は3,641万円の収入超過となりました。

経常収支差額では、経常的な収支バランスを見ることができますが、2,124万円の支出超過となりました。

特別収支差額では、資産売却や施設・設備関係の補助金等の臨時的な収支を見ることができ、266万円の収入超過となりました。

基本金組入前当年度収支差額では、当該年度の収支バランスを見ることができますが、結果として1,857万円の支出超過となりました。

基本金組入額合計は、学校法人を維持するために必要な資産を継続的に保持するための組入額で、2億6,919万円の計上となりました。この主な要因は、将来に備えた改修工事等に係る第2号基本金への組入れを2億2,000万円、奨学資金の基金組み入れ対象の第3号基本金への組み入れ5,000万円を行ったことによります。

当年度収支差額は、基本金組入前当年度収支差額から基本金組入額合計を控除したもので、2億9,757万円の支出超過となりました。

4. 貸借対照表について

「貸借対照表」は、学校法人としての財政状態を明らかにするもので、平成31年3月31日時点における資産、負債、純資産の内容および残高を表しています。

「有形固定資産」の減少の要因となったのは、減価償却額及び土地売却によるものです。「特定資産」の増加については、第2号基本金及び第3号基本金に対する引当特定資産の組入が主な要因です。「その他の固定資産」の増加については、有価証券を購入したことが要因です。

「資産の部」合計は本年185億6,059万円となり、前年度と比較して1億2,583万円増加しています。また、「負債の部」合計は11億5,881万円となり、前年度と比較して1億4,441万円増加しています。その結果、基本金と繰越収支差額を合算した「純資産の部」合計は、174億177万円となり、前年度と比較して1,857万円減少しました。資産総額に含める純資産の割合は、93.8%となり、前年度の94.5%から0.7ポイント低くなりました。

資金収支計算書

平成30年 4月 1日 から
平成31年 3月31日 まで

(単位 円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	1,267,307,000	1,304,529,943	△ 37,222,943
手数料収入	14,735,000	15,648,200	△ 913,200
寄付金収入	7,040,000	7,722,622	△ 682,622
補助金収入	355,565,000	370,013,498	△ 14,448,498
国庫補助金収入	120,000,000	119,895,000	105,000
地方公共団体補助金収入	105,565,000	115,637,492	△ 10,072,492
施設型給付費収入	130,000,000	134,481,006	△ 4,481,006
資産売却収入	270,000,000	279,750,084	△ 9,750,084
付随事業・収益事業収入	52,560,000	67,339,170	△ 14,779,170
受取利息・配当金収入	31,056,000	36,411,550	△ 5,355,550
雑収入	145,673,000	161,014,297	△ 15,341,297
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	361,600,000	461,309,430	△ 99,709,430
その他の収入	694,611,000	698,285,889	△ 3,674,889
資金収入調整勘定	△ 570,601,750	△ 602,780,200	32,178,450
前年度繰越支払資金	2,380,000,000	2,383,347,647	
収入の部合計	5,009,545,250	5,182,592,130	△ 173,046,880

(単位 円)

支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	1,178,178,000	1,222,240,018	△ 44,062,018
教育研究経費支出	300,634,000	283,812,449	16,821,551
管理経費支出	165,624,000	145,747,534	19,876,466
借入金等利息支出	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0
施設関係支出	300,000	488,160	△ 188,160
設備関係支出	13,000,000	11,787,750	1,212,250
資産運用支出	770,000,000	820,000,000	△ 50,000,000
その他の支出	537,000,000	513,599,660	23,400,340
〔予備費〕	11,950,000		11,950,000
資金支出調整勘定	△ 28,000,000	△ 145,485,659	117,485,659
翌年度繰越支払資金	2,060,859,250	2,330,402,218	△ 269,542,968
支出の部合計	5,009,545,250	5,182,592,130	△ 173,046,880

活動区分
資金収支計算書

平成30年 4月 1日 から
平成31年 3月31日 まで

(単位 円)

科 目		金額
教育活動による資金収支	収入	
	学生生徒等納付金収入	1,304,529,943
	手数料収入	15,648,200
	一般寄付金収入	7,722,622
	経常費等補助金収入	368,891,498
	付随事業収入	67,339,170
	雑収入	159,795,356
	教育活動資金収入計	1,923,926,789
	支出	
	人件費支出	1,222,240,018
	教育研究経費支出	283,812,449
	管理経費支出	145,209,387
	教育活動資金支出計	1,651,261,854
施設整備等活動による資金収支	差引	272,664,935
	調整勘定等	△ 33,731,887
	教育活動資金収支差額	238,933,048
	科 目	金額
	収入	
その他の活動による資金収支	施設設備補助金収入	1,122,000
	施設設備売却収入	128,664,804
	施設整備等活動資金収入計	129,786,804
	支出	
	施設関係支出	488,160
	設備関係支出	11,787,750
	第2号基本金引当特定資産繰入支出	220,000,000
	施設整備等活動資金支出計	232,275,910
	差引	△ 102,489,106
	調整勘定等	89,820,276
	施設整備等活動資金収支差額	△ 12,668,830
	小計（教育活動資金収支差額＋施設整備等活動資金収支差額）	226,264,218
その他の活動による資金収支	科 目	金額
	収入	
	有価証券売却収入	150,000,000
	預り金受入収入	416,886,704
	退職給与引当特定資産取崩収入	42,901,203
	その他の収入	51,064,928
	小計	660,852,835
	受取利息・配当金収入	36,411,550
	過年度修正収入	1,218,941
	その他の活動資金収入計	698,483,326
	支出	
	有価証券購入支出	483,112,031
	退職給与引当特定資産繰入支出	66,887,969
	第3号基本金引当特定資産繰入支出	50,000,000
	預り金支払支出	419,829,849
	その他の支出	57,324,977
	小計	1,077,154,826
	過年度修正支出	538,147
	その他の活動資金支出計	1,077,692,973
	差引	△ 379,209,647
	調整勘定等	100,000,000
	その他の活動資金収支差額	△ 279,209,647
	支払資金の増減額（小計＋その他の活動資金収支差額）	△ 52,945,429
	前年度繰越支払資金	2,383,347,647
	翌年度繰越支払資金	2,330,402,218

事業活動収支計算書

平成30年 4月 1日 から
平成31年 3月31日 まで

(単位 円)

教育活動収支	事業活動収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異	
		学生生徒等納付金	1,267,307,000	1,304,529,943	△ 37,222,943	
		手数料	14,735,000	15,648,200	△ 913,200	
		寄付金	7,040,000	7,722,622	△ 682,622	
		経常費等補助金	355,565,000	368,891,498	△ 13,326,498	
		国庫補助金	120,000,000	119,895,000	105,000	
		地方公共団体補助金	105,565,000	114,515,492	△ 8,950,492	
		施設型給付費	130,000,000	134,481,006	△ 4,481,006	
		付随事業収入	52,560,000	67,339,170	△ 14,779,170	
	雑収入	145,673,000	159,795,356	△ 14,122,356		
	教育活動収入計	1,842,880,000	1,923,926,789	△ 81,046,789		
支出の部	事業活動	科 目	予 算	決 算	差 異	
		人件費	1,199,078,000	1,246,226,784	△ 47,148,784	
		教育研究経費	554,634,000	531,742,918	22,891,082	
		管理経費	223,324,000	203,614,704	19,709,296	
		徴収不能額等	0	0	0	
		教育活動支出計	1,977,036,000	1,981,584,406	△ 4,548,406	
教育活動収支差額		△ 134,156,000	△ 57,657,617	△ 76,498,383		
教育活動外収支	収入の部	事業活動	科 目	予 算	決 算	差 異
			受取利息・配当金	31,056,000	36,411,550	△ 5,355,550
			その他の教育活動外収入	0	0	0
			教育活動外収入計	31,056,000	36,411,550	△ 5,355,550
	支出の部	事業活動	科 目	予 算	決 算	差 異
			借入金等利息	0	0	0
			その他の教育活動外支出	0	0	0
			教育活動外支出計	0	0	0
	教育活動外収支差額		31,056,000	36,411,550	△ 5,355,550	
	経常収支差額		△ 103,100,000	△ 21,246,067	△ 81,853,933	
特別収支	収入の部	事業活動	科 目	予 算	決 算	差 異
			資産売却差額	10,000,000	22,605,375	△ 12,605,375
			その他の特別収入	0	2,583,723	△ 2,583,723
			特別収入計	10,000,000	25,144,098	△ 15,144,098
	支出の部	事業活動	資産処分差額	0	21,604,374	△ 21,604,374
			その他の特別支出	0	871,493	△ 871,493
			特別支出計	0	22,475,867	△ 22,475,867
特別収支差額		10,000,000	2,668,231	7,331,769		
〔予備費〕		0		11,950,000		
〔予備費〕		11,950,000		11,950,000		
基本金組入前当年度収支差額		△ 105,050,000	△ 18,577,836	△ 86,472,164		
基本金組入額合計		△ 270,000,000	△ 278,997,126	8,997,126		
当年度収支差額		△ 375,050,000	△ 297,574,962	△ 77,475,038		
前年度繰越収支差額		4,246,779,694	4,246,779,694	0		
基本金取崩額		0	8,646,147	△ 8,646,147		
翌年度繰越収支差額		3,871,729,694	3,957,850,879	△ 86,121,185		
(参考)						
事業活動収入計		1,883,936,000	1,985,482,437	△ 101,546,437		
事業活動支出計		1,988,986,000	2,004,060,273	△ 15,074,273		

貸借対照表

平成31年 3月31日

(単位 円)

資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	(15,803,110,177)	(15,747,424,212)	(55,685,965)
有形固定資産	< 9,784,424,657 >	< 10,180,619,513 >	< △ 396,194,856 >
土地	3,993,089,550	4,099,148,979	△ 106,059,429
建物	5,080,972,461	5,318,724,457	△ 237,751,996
その他の有形固定資産	710,362,646	762,746,077	△ 52,383,431
特定資産	< 5,676,887,969 >	< 5,382,901,203 >	< 293,986,766 >
その他の固定資産	< 341,797,551 >	< 183,903,496 >	< 157,894,055 >
流動資産	(2,757,482,666)	(2,687,332,102)	(70,150,564)
現金預金	2,330,402,218	2,383,347,647	△ 52,945,429
その他の流動資産	427,080,448	303,984,455	123,095,993
資産の部合計	18,560,592,843	18,434,756,314	125,836,529
負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	(468,133,911)	(445,954,561)	(22,179,350)
長期未払金	1,245,942	3,053,358	△ 1,807,416
退職給与引当金	466,887,969	442,901,203	23,986,766
流動負債	(690,684,360)	(568,449,345)	(122,235,015)
短期借入金	0	0	0
その他の流動負債	690,684,360	568,449,345	122,235,015
負債の部合計	1,158,818,271	1,014,403,906	144,414,365
純資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増 減
基本金	(13,443,923,693)	(13,173,572,714)	(270,350,979)
第1号基本金	12,678,923,693	12,683,572,714	△ 4,649,021
第2号基本金	385,000,000	165,000,000	220,000,000
第3号基本金	250,000,000	200,000,000	50,000,000
第4号基本金	130,000,000	125,000,000	5,000,000
繰越収支差額	(3,957,850,879)	(4,246,779,694)	(△ 288,928,815)
翌年度繰越収支差額	3,957,850,879	4,246,779,694	△ 288,928,815
純資産の部合計	17,401,774,572	17,420,352,408	△ 18,577,836
負債及び純資産の部合計	18,560,592,843	18,434,756,314	125,836,529

財産目録

平成31年 3月31日

(単位 円)

科 目	摘 要	金 額
一 資産額		
(一) 基本財産		8,280,451,028
1 土地	福岡市南区横手1-59他	2,467,998,449
2 建物	短期大学本館他	5,080,972,461
3 構築物	短期大学外構他	198,611,139
4 その他の有形固定資産	短期大学教研用機器備品他	511,751,507
5 その他の固定資産	教務システム他	21,117,472
(二) 運用財産		10,280,141,815
1 土地	福岡市南区塩原3-379他	1,525,091,101
2 学園拡充引当特定資産	学園拡充用資産	3,125,000,000
3 施設更新引当特定資産	既存施設建替資金	1,450,000,000
4 退職給与引当特定資産	退職金引当資金	466,887,969
5 第2号基本金引当特定資産	第一幼稚園園舎改築資金 他	385,000,000
6 第3号基本金引当特定資産	学園奨学金基金	250,000,000
7 長期有価証券	長期投資用債権	319,704,425
8 現金預金	当座支払資金	2,330,402,218
9 短期有価証券	中期国債ファンド等投資信託等	256,886,591
10 その他の資産	退職金財団交付金未収入金 他	171,169,511
資 産 合 計		18,560,592,843
二 負債額		
1 固定負債		468,133,911
(1) 長期未払金	教務システムリース代 他	1,245,942
(2) 退職給与引当金	期末要支給額	466,887,969
2 流動負債		690,684,360
(1) 未払金	共済掛金他	146,997,454
(2) 前受金	入学金、入園料他	461,309,430
(3) その他の流動負債	卒業積立金等預り金他	82,377,476
負 債 合 計		1,158,818,271
正味資産総額 (資産合計－負債合計)		17,401,774,572

監査報告書

監査報告書

令和 元 年 5 月 25 日

学校法人 山内学園

理事長 坂根 康秀 殿

学校法人 山内学園

監事

山田 隆 

監事

武部 真寿 

私たち監事は、私立学校法及び学校法人山内学園寄附行為第14条の定めに基づき、平成30年度(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)の本学園の財産の状況及び理事の職務の執行状況を監査いたしました。その結果を次のとおり報告致します。

1. 監査内容

監事は、理事会その他重要な会議に出席し、理事から業務の執行状況を聴取し、重要書類等を閲覧し、関係部所において業務及び財産の状況を調査する等の方法で監査し、また、公認会計士(監査法人 北三会計社)と連携し、計算書類について協議しました。

2. 監査結果

- (1) 学校法人の業務は、事業計画及び予算に沿い適切に遂行されており、不正の行為或いは法令及び寄附行為に違反する事実は認められません。
- (2) 資金収支計算書、活動区分資金収支計算書、事業活動収支計算書、及び貸借対照表(付属内訳表を含む)並びに財産目録は、法令及び寄附行為に従い、本学園の財産及び経営の状況を正しく示しているものと認めます。

以 上

財務比率表(5ヵ年)

【事業活動収支計算書関係比率】

比 率	算式(×100)	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	65.28	66.47	63.04	63.00	63.57
人件費依存率	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	84.66	90.69	85.34	86.50	95.53
教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	33.57	28.19	27.56	35.85	27.12
管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	14.95	13.81	13.04	12.01	10.38
借入金等利息比率	$\frac{\text{借入金等利息}}{\text{経常収入}}$	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00
経常収支差額比率	$\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経常収入}}$	-13.81	-8.48	-3.64	-10.86	-1.07
教育活動収支差額比率	$\frac{\text{教育活動収支差額}}{\text{教育活動収入計}}$	-16.06	-10.09	-5.05	-13.37	-2.99
事業活動収支差額比率	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	-22.77	-1.14	-3.40	-5.16	-0.91
学生納付金比率	$\frac{\text{学生納付金}}{\text{経常収入}}$	77.11	73.30	73.87	72.83	66.55
寄付金比率	$\frac{\text{寄付金}}{\text{事業活動収入}}$	0.50	0.44	0.44	0.45	0.39
補助金比率	$\frac{\text{補助金}}{\text{事業活動収入}}$	12.22	13.45	14.50	13.08	18.58
基本金組入率	$\frac{\text{基本金組入額}}{\text{事業活動収入}}$	14.13	12.38	0.39	14.41	13.62
減価償却額比率	$\frac{\text{減価償却額}}{\text{経常支出}}$	13.70	14.04	15.42	14.68	15.28

【貸借対照表関係比率】

流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	373.50	373.35	491.47	472.75	399.24
総負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	5.22	5.29	5.42	5.50	6.24
前受金保有率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	392.90	431.45	572.18	534.86	505.17
退職給与引当特定資産保有率	$\frac{\text{退職給与引当特定資産}}{\text{退職給与引当金}}$	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
固定資産構成比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	88.80	88.74	85.24	85.42	85.14
負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{純資産}}$	5.51	5.59	5.73	5.82	6.66
基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	99.99	99.94	99.95	99.94	99.98
減価償却比率	$\frac{\text{減価償却累計額}}{\text{減価償却資産取得価額}}$	36.98	37.44	38.96	40.28	44.55

※平成26年度の決算については、平成27年度から適用された改正後の会計基準に基づき、組み替えて表示している。